

WorldSkills Competition 2022 Special Edition

第46回技能五輪国際大会(特別開催) 実施報告 (フランス・ボルドー)

昨年開催されました第59回技能五輪全国大会(東京)で優勝した矢野啓人選手が、日本代表として「技能五輪国際大会特別開催」に参加しました。結果は以下の通りとなりました。会員各位におかれましては、多くのご支援・ご協力・ご声援をいただき感謝申し上げます。

21. Plastering and Drywall Systems (左官職種) 結果報告

金メダル. Hongda Ma	(China・中国)	771点
銀メダル. GUAN-YU CHEN	(Chinese Taipei・台湾)	760点
銅メダル. Adrian Büttler	(Switzerland・スイス)	750点
敢闘賞. Baptiste LAM	(France・フランス)	730点
入賞. 矢野 啓人	(Japan・日本)	715点
Akbar Abdirakhimo	(Uzbekistan・ウズベキスタン)	713点
Seungwon Jung	(Korea・韓国)	713点
Matthias Haide	(Austria・オーストリア)	687点
Marc Ebinge	(Germany・ドイツ)	687点
Brendan Duddy	(United Kingdom・イギリス)	686点
Attila Stob	(Hungary・ハンガリー)	686点
van Alexandrov	(Kazakhstan・カザフスタン)	674点
Amit Kumar Singh	(India・インド)	671点
Andrey Christi	(Jamaica・ジャマイカ)	581点

主催者ホームページにて、結果詳細をご確認いただけます。

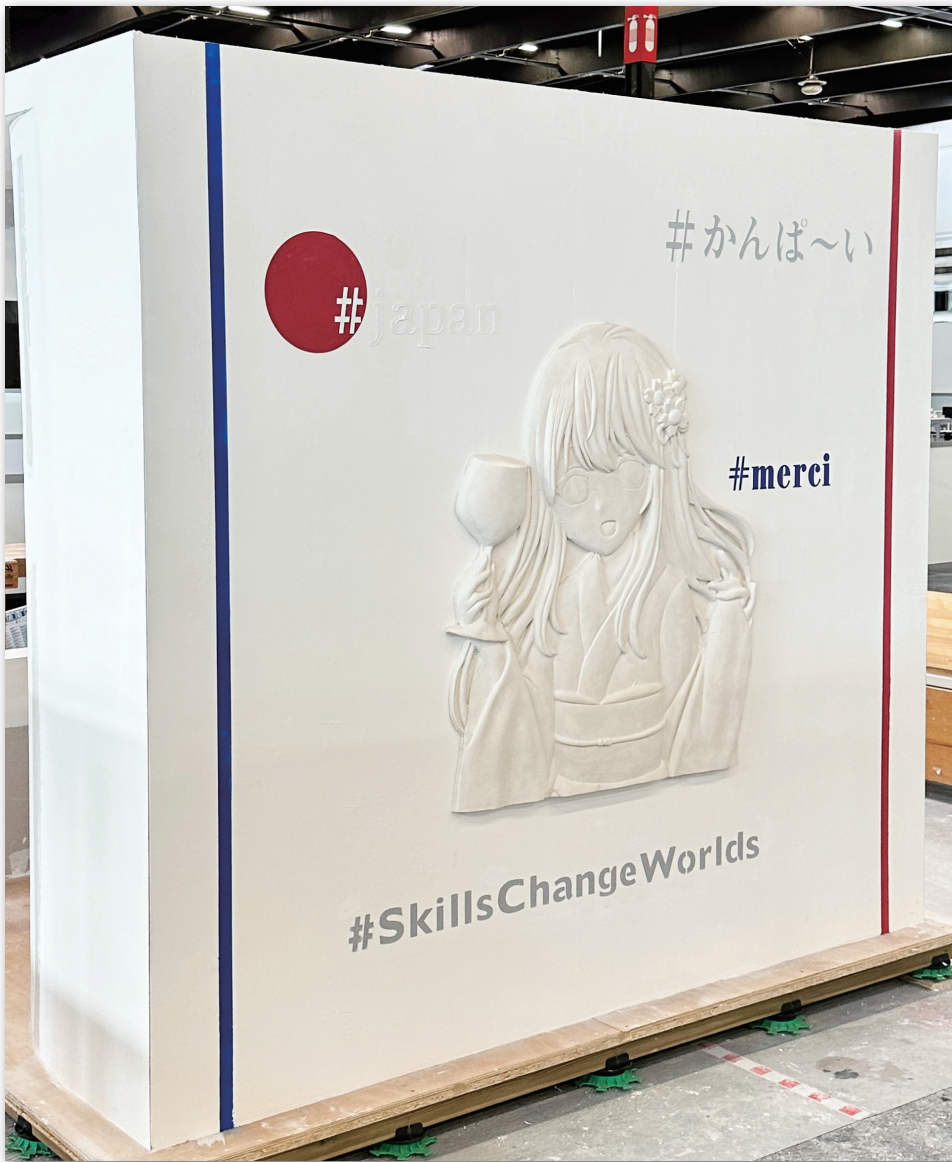
ワールドスキルズインターナショナルHP

「<https://worldskills2022se.com/>」



※上記ページの「Construction and Building Technology」の「Plastering and Drywall Systems」に掲載されています。

各国の自由課題の作品



日本



中国



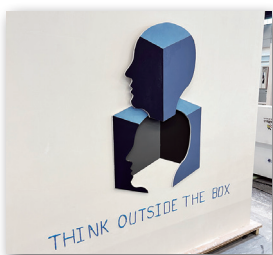
台湾



スイス



フランス



ウズベキスタン



韓国



オーストリア



ドイツ



イギリス



ハンガリー



カザフスタン



インド

World Skills Competition Special Edition 2022 Bordeaux in France Plastering and Drywall Systems Team JAPANの 取組みと成果について

— 丸山産業(株)矢野啓人選手がWSC/SE2022で敢闘賞受賞 —



左官職種エキスパート
ものづくり大学 三原 齊

【2021年11月】

第59回技能五輪全国大会（東京ビッグサイト）にてWorld Skills Competition（WSC）左官職種分科会開催。出場選手未決定ではあるが、以下の内容を全委員総意のもとで決定した。訓練計画を提示（基本訓練：ものづくり大学にて実施+応用訓練：事業所にて+発展訓練：事業所にて）。Team JAPANのメンバーは、選手1名、日左連WSC専任コーチ2名（前橋コーチ、島田コーチ）、全室協コーチ（数名）、事業所コーチ（1名）、エキスパート（EP：三原）である。選手決定後に訓練を計画と実行予算に基づき実施する。EPは、訓練計画を日左連専任コーチらとともに検討する。WSCおよび職業能力開発協会（JAVADA）からの情報をいち早くキャッチし、精査したものを日左連専任コーチや選手に伝達するとともに、訓練課題案の英文作成を行う。EPはマネジメント業務に徹し、各コーチは選手の指導に徹する。この方法は、JAVADAのWSC研修会でよく耳にしており、職能力開発総合大学校が推奨する教育訓練そのものである。日左連専任コーチは、訓練計画に基づき、指導方法と内容を決定し実施する。また、コーチらはEPが作成した複数の訓練課題案（英文・邦文）の加筆・修正を行い、これらを各コーチらに指導方法と内容とともに伝達し、PDCAサイクルを繰り返し実施するものである。第59回技能五輪全国大会の成績発表があり、東京都丸山産業株式会社の矢野啓人選手が金賞を受賞し、WSC2022に出場することが決定した。

【2021年12月末】 事前打合せ

左官職種分科会長と事業主、選手、日左連専任コーチ2人、事業所コーチ1人およびエキスパートらとのものづくり大学三原研究室にてチーム編成と今後の進め方について打ち合わせを行った。

【2022年2月初～3月末】 基本訓練

ものづくり大学屋外特設実習場にて、選手と日左連専任コーチおよび事業所コーチが協力し合って、過年度WSCのTest Project（英文課題）の読み取り、積算、軽量鉄骨（LGS）加工・組立て、プラスターボード（PB）の加工・張り付け、断熱材（IS）の加工・取付け、EU品質基準に基づいた4タイプのパテ塗り、モールディングの切断加工・取付け、自由課題の制作等を行った。

【2022年3月10日】 WS/UK 英国主催バーチャル競技大会事前ミーティング、14～16日：英国主催バーチャル競技大会の実施

24時間Zoomを用いた公式バーチャル競技大会である。参加国は、UK, JP, KR, TW, BR,であり、BRは24時間Zoom監視を行った。金賞はTW、銀賞はJP、銅賞はKRであった。

【2022年4月1日～8月31日】 応用訓練 丸山産業特設訓練場にて

事業所特設訓練場にて、選手と日左連専任コーチおよび事業所コーチが協力し合って、出題を想定した約20の応用課題Test Project（英文）の読み取り、積算、軽量鉄骨（LGS）加工・組立て、プラスチックボード（PB）の加工・張り付け、断熱材（IS）の加工・取付け、EU品質基準適合パテ塗り、モールディングの切断加工・取付け、自由課題の制作等を行った。途中で事業所コーチの変更があり、事業主がコーチを行うこととなった。

【2022年4月末】

JAVADA2022年度予算決定後は、あまりにも低い予算のため、訓練計画どおりに実施するのは至難であった。特に、コーチの謝金を訓練計画の1/20にするために、週2回のzoomミーティングにより選手の悩みを聞いたりと、問題解決を行った。その後、戸田みらい基金から200万円の支援金が決定し、事業所の付き合いのあるゼネコンから約150万円の支援金があったが、材料費・消耗品費・リース費・謝金・コーチ謝金がそれぞれ不足しており、かなりの金額を事業主が負担しなければならない。さらに、これ以外に道工具類の購入費や選手の給料および法定福利費等はすべて事業所の負担となり、事業所の負担は嵩んだ。

【2022年5月24-27日】 WS/TW 台湾主催バーチャル競技大会の実施

Zoomを用いたWSC公式バーチャル競技大会である。参加国は、TW, JP, KR, CHであった。金賞はTW、銀賞はCHであり、世界の壁がとても厚く高いことを把握することができた。

【2022年6月6日】 応用訓練

全室協コーチ（株東和）の協力を得て川越市鯨井にある株東和訓練所にてLGS,PB強化訓練を実施させていただいた。日左連専任コーチおよび事業所コーチも同行した。

【2022年6月15, 16, 24日】 応用訓練

同上の強化訓練を実施した。特に、R型（曲面壁）を導入した課題を実施した。日左連専任コーチおよび事業所コーチも同行した。

【2022年7月】

中国上海大会中止決定、その後、World Skills Competition Special Edition 2022として各職種が決めた約15カ国のホスト国にてそれぞれ実施することとなった。Plastering and Drywall Systems職種は、フランス／ポルドーで実施することとなった。

【2022年9月1日～10月14日】 発展訓練

本番を想定したTest Projectの取組みと自由課題の検討と決定。時間・精度・タイムトライアル・自由課題・それぞれの項目に分けて実践さながらの訓練を可能な範囲で実施した。渡航前ギリギリまで、日左連専任コーチと事業所コーチらが、自由課題の検討と指導を行った。

【2022年9月3, 4, 5日】 発展訓練（強化訓練1）

全室協コーチ（株東和）の協力を得てLGS,PBおよびR型を導入した強化訓練を実施した。日左連専任コーチと事業所コーチが同行した。

【2022年9月24-26日】 発展訓練 同上（強化訓練2）

ここでは、最終チェックが入念に行われた。

World Skills Competition Special Edition 2022 Bordeaux in Franceにおけるスケジュールを以下の表1に示す。

表1 競技スケジュール表 (CはCompetitionの略)

Dates									
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.
Sat.	Sun.	Mon.	Tue.	Wed.	Thur.	Fri.	Sat.	Sun.	Mon.
C-4	C-3	C-2	C-1	C1	C2	C3	C4	C+1	C+2

C-4 競技4日前 (C : Competition)

【2022年10月15日】羽田空港～ France Paris経由Bordeaux空港へ。その後、Bordeaux空港からIbis LACホテルへ移動。ホテル到着は、深夜であった。

C-3

【2022年10月16日】 EPと通訳 (IP) は会場にてChief Expert (CE) のRudolf (Switzerland) とWorkshop Manager (WM) および他国のEPらとともに競技準備および各国のEP適正試験および評価試験の実施が行われた。三原EPはCEとともにJudgement (主観評価) とMeasurement (計測評価) の各評価を行うこととなった。今大会では急遽Skills Competition Manager (SCM) が欠席することになったので、その代役をCEが行った。この日、選手はフリーであった。

C-2

【2022年10月17日】 Familiarization Day (習熟の日)

Competitor (選手:C) 入場。各国のEP・IPおよびCの各紹介が行われた。その後、Test Project (TP : 課題) 発表が行われた (図1-4)。モジュールが5つに分かれており、予想通りであった。フレーム内部にS字の曲壁があり、難度が高いものであることがすぐにわかった。選手は3時間以内に、TPを読み取らなければいけない。その内、1時間だけ、選手と自国のEPとIPと一緒に考え、読み取っても構わないルールになっている。図面寸法の暗記、施工方針の決定、材料の積算を行った (表2)。残りの2時間では、選手だけがEPルームに残って、英文のTPを読み取る。積算の修正、施工方針の修正、そしてそれらを決定する。TPは毎日の競技終了後CEが回収する。回収されたTPは、各競技日の朝配布され、競技終了後に改めて回収されるしくみになっている。

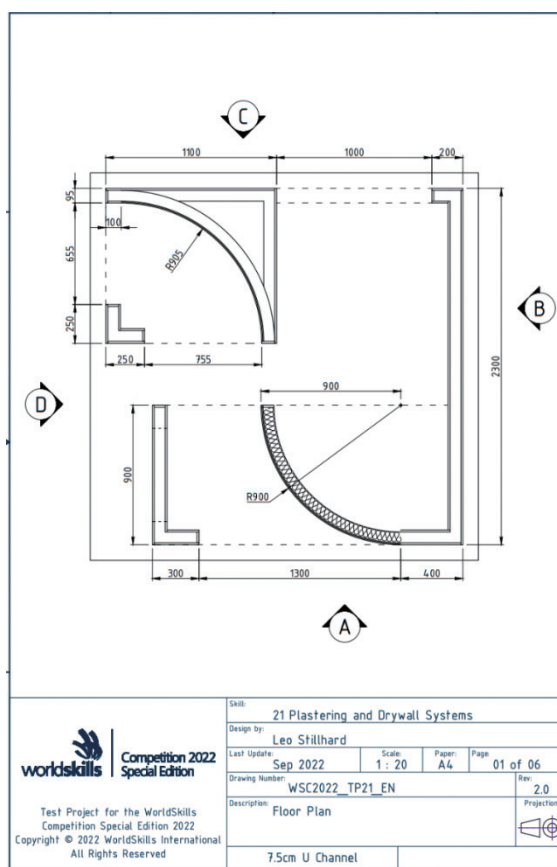


図1 平面図兼配置図

WSC2022SE_TP21_EN_V2_S1-FLOOR PLAN_actual_enより引用

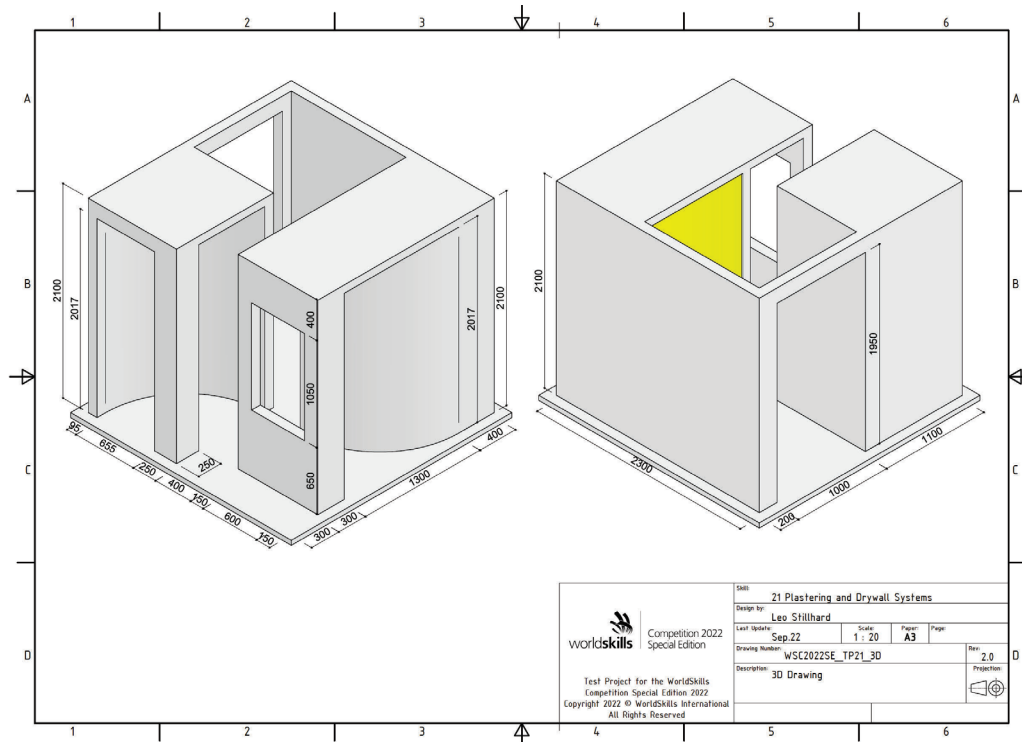


図2 寸法詳細図 現地で配布後回収されたものを再現（三原）

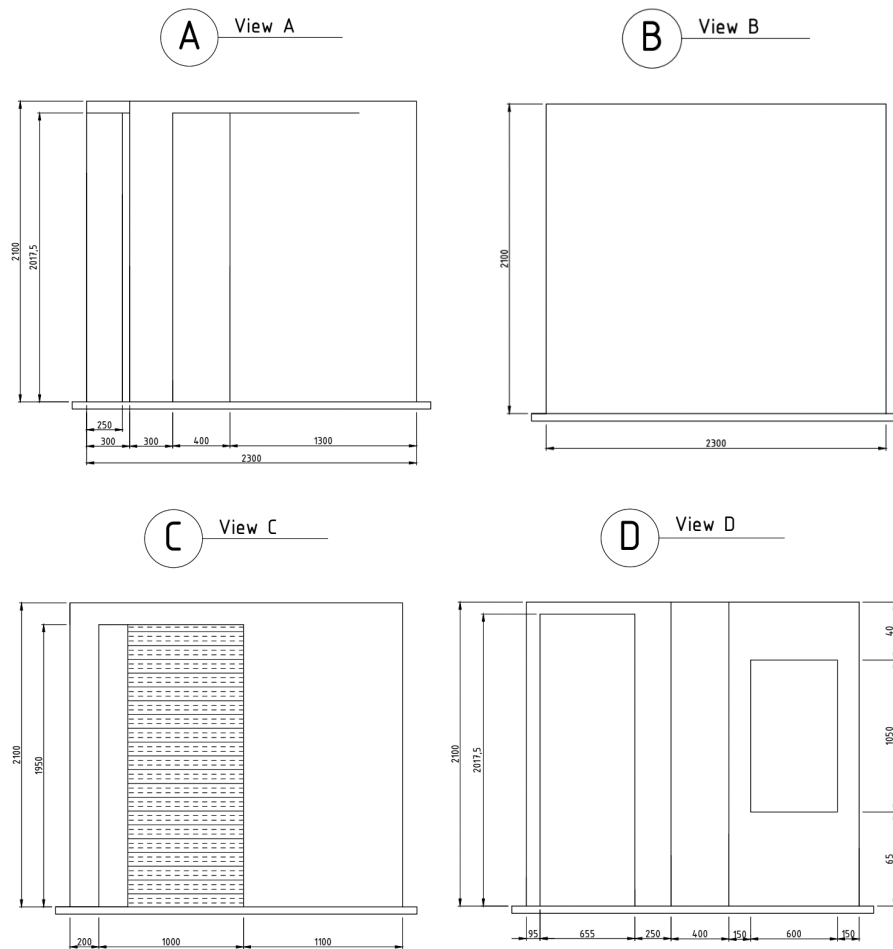


図3 A・B・C・D立面図 兼 寸法図

WSC2022SE_TP21_EN_V2_S1-FLOOR PLAN_actual_enより引用

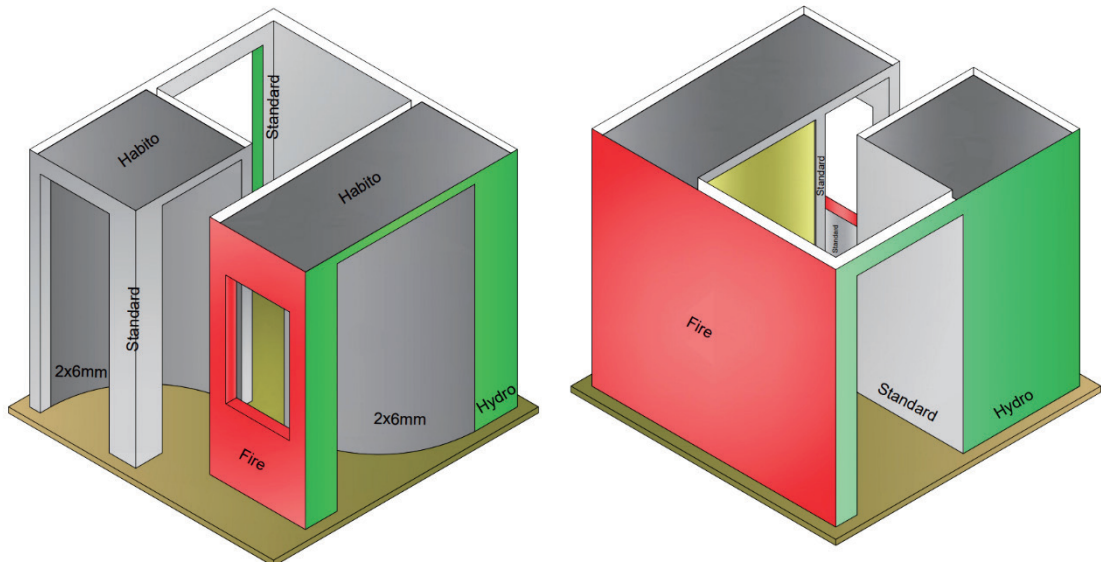


図4 プラスターボードタイプ
WSC/SE 2022 TP21より引用

表2 積算リスト:数量はWSC公表資料より引用

1. スタンダード プラスターボード	5 pcs
2. ハビト プラスターボード	2 pcs
3. 耐水 プラスターボード	3 pcs
4. 耐火 プラスターボード	3 pcs
5. 6 mmフレックス プラスターボード	12 m ²
6. 70 mm/ 3 m UW Cチャンネル	30 pcs
7. 70 mm/2.5 m CW Cスタッド	39-40 pcs

C-1

【2022年10月18日】 競技準備と開会式の参加

朝から、競技準備が行われた。積算に基づいたLGSおよび各種ボードの競技エリア内への配置を、選手およびEPが行う。LGSの切断と油と塵ゴミで汚れているLGSの清掃を選手とEPが力を合わせて行う。LGSはスタッドとランナーの各本数が多いので、かなりの手間と時間がかかった。矢野選手と韓国選手が協同して各国の材料を配置している姿が微笑ましかった。マルチツールを持参しなかったため、金切りハサミを使用してすべてのLGSを加工するのに選手は苦勞した。夜は、Bordeaux シアター兼レストラン（元仏海軍基地／ドッグ／倉庫）にて盛大な開会式が行われた。

C 1 競技 1 日目 (C : Competition)

【2022年10月19日】 モジュール1 およびモジュール2（建築と断熱）のうちC 1：作業時間6:00時間

LGS加工・組立て+一部ボード張り+断熱材（IS）加工・取付けを行う。特に、曲壁のLGSと曲面ボード張りに手間と時間がかかった。ハビトボード（Franceサンゴバン社製：ガラス繊維入り特殊石膏ボード）の使用箇所は天井部分であった。今大会には電動ジグソーを持参したため、ハビトボードの加工および取付けは容易であった。複雑な設計であったため、各国の選手たちは苦勞していた。曲面壁は、6 mmボード2枚重ねで、1枚目には、ジョイント部をパテ処理（欧州基準Q 1）しておかなければいけない。矢野選手は、ISと曲面壁一部が未完成のまま一日目を終了した。競技終了後、JudgementとMeasurementの方法と内容についてCEよ

り詳しい説明があった。1日目の評価がCEらによって行われた。自費でオブザーバー参加して下さった、島田日左連専任コーチ、丸山事業所コーチ、石田全室協コーチ代理は、競技エリア外から矢野選手に対してしっかりとエールを送ってくれたことに感謝の念が堪えない。

C 2 競技2日目

【2022年10月20日】 モジュール1・2の続き：モジュール1およびモジュール2（建築と断熱）のうちC 2：作業時間5:00時間

昨日の続きで、各種ボード張りをを行う。キューブ各面のボードの種類が異なっており、間違わないように施工する。4×8版の各種プラスターボードおよびハビトボードを加工・組立する。プラスターボード（PB）は4種類あり、スタンダードPB、耐火PB、耐水PB、曲面壁用厚6mm PBである。競技終了後、JudgementとMeasurementが選ばれたEPによって行われた。三原EPは第一チームに選ばれ各国の評価を行った。評価は翌朝の1時まで行われた。

C 3 競技3日目

【2022年10月21日】 モジュール3 作業時間: 5時間30分

モジュール3は、キューブの各面のパテの施工を欧州基準のQ 2～4で仕上げる（図5）。また、出隅やPBジョイントには指定された各種コーナーを取付けする。紙・プラスチック・メタルコーナーやジョイントを決められた位置に施工する（図5）。パテの施工におけるQ 1はPBジョイントをパテ材で埋めるだけである。Q 2はQ 1 + ある幅でパテ材を使用し、平滑に仕上げる。その際にペーパー掛けし、さらに平滑にする。Q 3は、Q 2 + 1mm未満で壁面全体を薄く平滑に仕上げる。Q 4はQ 3 + 1mm以上で厚めに仕上げる。その際、壁面全体が平滑度が最も高い仕上げ品質が要求される。競技終了後、JudgementとMeasurementが選ばれたEPによって行われた。三原EPはC 2同様に第一チームで各国の評価を行った。評価はC 2同様に翌朝の1時まで行われた。

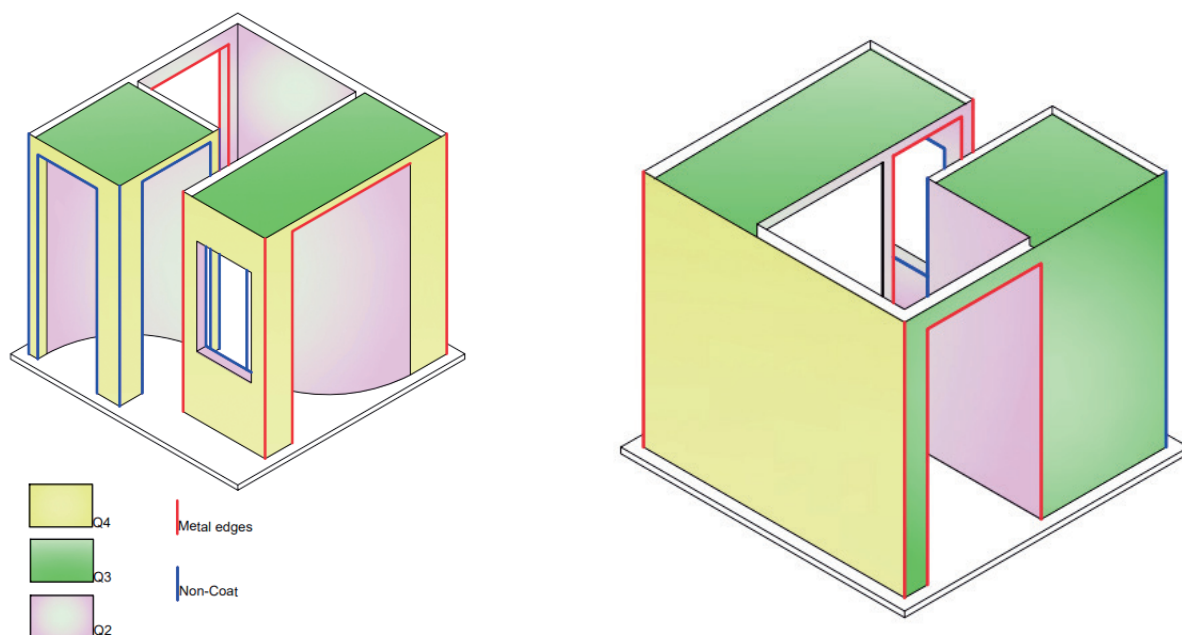


図5 欧州仕上基準Q2-4と2種類のコーナーの施工指示
WSC2022SE_TP21_EN_V2_S1-FLOOR PLAN_actual_enより引用

C 4 競技4日目

【2022年10月22日】 モジュール4（作業時間: 2時間）+モジュール5（作業時間: 2時間）

午前 モジュール4が行われた。モジュール4はタイムトライアルである。2時間以内に、モールディングの加工・取付け・補修を行い、指定された箇所のテクスチャー仕上げを行う（図6）。ようやく、左官仕事が発揮できる場面である。テクスチャー材料は決められており、木鏝を用いて平滑に仕上げる。骨材が大きいため、凸凹を活かした仕上げとする。テクスチャー材料の色は、Bordeaux Wine Collarであった。

午後 モジュール5が行われた。このモジュールは、自由課題による仕上げとなる。ディスカッションフォーラムでは、2×2m以上の大きさで仕上げることとなっていた。現地ルールでは、2×2m以上の大きさの下地の上に自由な大きさにデコレーションして良いという解釈のもとで競技が進められた。矢野選手は、丸山事業所コーチらとともに考案した「さかんちゃん」というJapan Animationの石膏型を見事に創り上げ、他国のEPや選手および観客の話題の的になっていた。自由課題は他国に類を見ない素晴らしい出来具合であったことが印象的であった。そして、2022年度の競技は終了した。

競技終了後、JudgementとMeasurementが選ばれたEPによって行われた。三原EPはC 2・3同様に第一チームで各国の評価を行った。評価はC 2・3同様に翌朝の1時まで行われた。さらに、次回France Lyon大会時のCEの選挙が行われた。

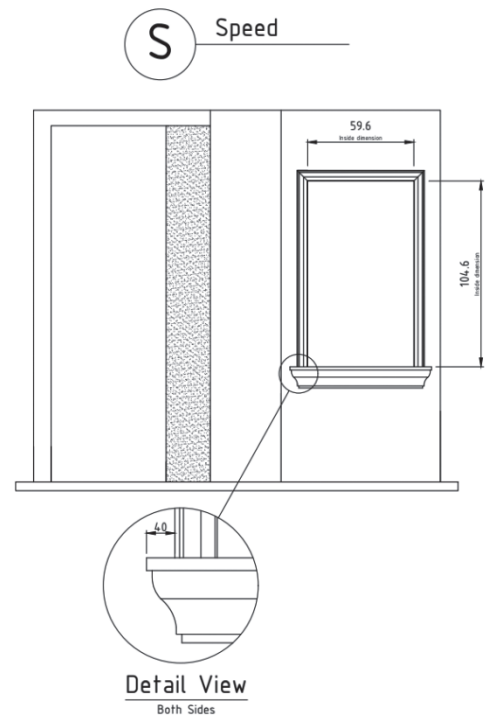


図6 モールディング詳細図

WSC2022SE_TP21_EN_V2_S1-FLOOR PLAN_actual_enより引用

C+1

【2022年10月23日】 成績発表・閉会式

PULLMAN Bordeaux LACホテルレセプションルームにおいて、成績発表が行われた。

ゴールドメダルは、中国（771点／800）。シルバーメダルは、台湾（760点／800）。ブロンズメダルは、スイス（750点／800）、4位敢闘賞 フランス（730点／800）、5位敢闘賞 日本（715点／800）、6位敢闘賞 ウズベキスタン&韓国（713点／800）、以下選外8位オーストリア&ドイツ（687点／800）、10位英国&ハンガリー（686点／800）、12位カザフスタン（674点／800）、13位インド（671点／800）、14位ジャマイカ（581点／800）。Plastering and Drywall Systems Team JAPANは、5位（敢闘賞）に入賞した。矢野選手は、1日目未完成であったが、諦めずに手を抜かずに最後まで良く頑張ってくれた。特に、ひとつ一つの仕上がりの出来栄は良く、矢野選手の持ち味をしっかりと表現した作品を創り上げてくれたと評価できる。また、ここまで、しっかりと矢野選手を支えてくれた、島田・前橋日左連専任コーチおよび丸山事業所コーチと全室協コーチらに感謝の気持ちが堪えない。さらには、後方支援していただいた、日左連石川会長、WSC分科会町田委員長はじめ分科会委員の皆様、戸田みらい基金の支援者の皆様、支援金をいただいた丸山コーチ関係のゼネコンの皆様にご心より御礼申し上げたい。

最後に、日本はゴールドメダルを逃したものの、WSC/SE Team JAPAN 2022では、未来のある若くて才能のある選手とすばらしいコーチ陣に恵まれて幸せでした。そして、ここまで応援して下さいました皆様、本当にありがとうございました。



日本選手団



自由課題の作成



塗り付け作業



選手・通訳・エキスパート



左官職種選手・エキスパート



完成課題の前で



見守る丸山社長



観客も注目している

技能五輪国際大会に出場して

2022年技能五輪国際大会 左官職種

日本代表 丸山産業株式会社 矢野 啓人



まず初めに、この度は技能五輪国際大会に出場させていただき、誠にありがとうございました。今年の2月から、国際大会に向けての本格的な練習が始まり、エキスパートの三原先生、島田コーチ、前橋コーチ、濱元コーチ、前大会の日本代表の前橋選手など、たくさんの方々に指導していただきました。初めての挑戦で不安もありましたが、皆様のサポートがあり、無事本大会に出場することができました。心から感謝しています。

現地（フランス・ボルドー）では、各国の選手やエキスパートの方々と交流し、毎日が刺激的で充実していました。競技の課題はとても難しく、今までになかったようなものが出題され、エキスパート、コーチとたくさんの方の打ち合わせを重ねて本番に挑みました。4日間頑張っってなんとか形にして大会を終えることができましたが、少しずつミスが重なり、結果は5位敢闘賞に終わってしまいました。本当に悔しさが残ります。この気持ちとはっておき、次の選手をしっかりとサポートしたいと思います。

最後に、人生において、これまで経験したことなかった、こんなに素晴らしい経験をさせていただいたことに、とても感謝しております。この大会での経験を活かし、これからも日々精進したいと思います。協力して下さった皆様、応援して下さいました皆様、そしてこの機会を作って下さった丸山社長、心から感謝します。本当にありがとうございました。

採点結果について（100点満点）

項目	基準	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
A	作業体制と管理	1.15	1.15	0.65	1.55		
	配点	1.15	1.15	1.15	1.55		
B	計画と考案／製図技術		3.00				
	配点		6.00				
C	ドライウォールシステムの施工		24.35				
	配点		41.00				
D	断熱材の施工		0.00				
	配点		6.00				
E	テープ張りとジョイント仕上げ			3.00			
	配点			4.00			
F	内部および外部の塗り作業			11.78			
	配点			20.00			
G	スピード競技				3.79		
	配点				8.00		
H	自由課題				5.73		
	配点				10.00		
合計		1.15	28.50	15.43	11.07	0.00	0.00
最大		1.15	54.15	25.15	19.55	0.00	0.00
TOTAL						56.15	
						100.00	

技能五輪国際大会を終えて

丸山産業株式会社
代表取締役 丸山 敬生



このたび、弊社矢野啓人が、ワールドスキルズ（技能五輪）国際大会に出場させていただくという大変貴重な機会に恵まれました。惜しくもメダルには届きませんでしたが、5位入賞（敢闘賞）を果たすことができ、これもひとえに皆様のご協力、ご支援あってこそのことと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

この大会は、60以上の工種が参加して行われる大規模な国際大会で、今回が46回目となります。当初は2021年に中国上海にて開催予定でしたが、コロナ禍の影響により、1年延期の後に再び中止となり、工種ごとに数か国に分かれての特別開催となりました。そのうち、左官部門を含めた6工種が、フランス・ポルドーにて開催されました。

左官の競技は、Plastering and Drywall Systems（左官工事と乾式壁工法）として、世界14か国が参加して行われました。どの国の選手も国の代表として、誇りと威信を懸けて競技に挑んでいます。会場は、かつて経験したことのない緊張と興奮に包まれ、様々な国の旗や、言葉が飛び交う様子に、本当に世界大会にやって来たのだなと、しみじみ実感しました。競技中オブザーバーである我々は、選手達の闘いを競技エリア外から眺めることしか出来ませんが、この大舞台で選手が、堂々と作業をこなす姿に、ここに至るまでの道のりを思い出し、胸が熱くなりました。この経験は、我々にとって一生の財産になるだろうと思っています。

正直なところ、この世界大会は日本の左官職人にとって不利なことだらけです。競技は4日間行われますが、合計約20時間のうち純粋に日本の左官技術が求められるのは、時間にするとわずか15分ほどのみで、残りの大部分は、いわゆる内装工事分野の技術を競う構成となっています。出場選手は、それぞれの国の学校や施設で、総合的に技術を学んでいる学生が主で、左官職人として現場で稼働しているのは、日本の選手ただひとりでした。選手も、国際大会出場が決まってからは、乾式壁工法の特訓にも力を注ぎ、相当腕を上げたと思いますが、競技向けの育成プログラムが整っている国々の選手との力の差は否めず、その中での敢闘賞受賞は、十分に胸を張れる結果であると思っています。

国際大会を経験した今この先のことを考えると、一左官職人がこの大会に挑戦するには、物理的、精神的、そして経済的にも、立ちはだかる壁が多すぎて、もはや限界なのではないかというのが率直な感想です。今後、日本がこの国際大会において本気で金メダルを目指すのであれば、専門のプロジェクトを立ち上げ、広く協賛を募り、競技用の技術を前提に選手を育成するシステムを構築する必要があるでしょう。ぜひ関係各位には、各方面と連携し、今後の課題と方針を検討していただきたいと思っています。

末筆になりますが、今回の国際大会出場にあたり、ご尽力いただきました中央職業能力開発協会の皆様、日左連の皆様、ご指導下さったものづくり大学の三原先生、島田コーチ、前橋コーチ、ご協力いただきました全ての皆様に、心から感謝申し上げます。この経験を糧に、これからも日本の左官業界に貢献できますよう、選手共々精進して参ります。

第60回技能五輪全国大会(幕張メッセ)の開催 「新型コロナウイルス感染拡大の防止策を実施しながらの開催」

技能五輪全国大会(国際大会兼務)
実行委員会 委員長 町田 卓大



競技会場の幕張メッセ

第60回技能五輪全国大会は2大会ぶりに有観客にて、11月4日(金)から7日(月)の4日間に亘り、幕張メッセ等を主会場とした全13会場にて開催された。

選手は、41職種の1,014名が全国より参加し、左官職種においては、主会場の幕張メッセの南5ホールにて17名の選手の参加によって競技が繰り広げられた。



左官職種競技会場の様子

今回の課題は、技能五輪国際大会で用いられる軽鉄作業、パテ作業、ボードを使用する作業の他、新たに当日課題変更とスピード競技を採用した。臨機応変に対応する柔軟さと、早く正確に仕上げる力の両方が問われる課題となっている。

主催者の技術委員会による厳正・公平なる審査の結果、左官職種の金賞は、ゼッケン番号1番の栃木県の遅澤雅選手(有阿久津左官店)となり、7日目の千葉ポートアリーナで開催された表彰式で発表があった。

また、左官職種が独自に実施している競技委員特別賞は、澁谷碧選手(石川県・株イスルギ)が、敢闘賞は、遅澤雅選手(栃木・有阿久津左官店)が受賞し、記念品の盾と賞状が授与された。

尚、来年度の第61回大会は、愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」(常滑市)を主会場に、第47回技能五輪国際大会(フランス・リヨン)の予選会として開催を予定しております。

受賞者

順位	選手名	都道府県名	所属事業所	順位	選手名	都道府県名	所属事業所
金賞	遅澤 雅	栃木県	(有)阿久津左官店	銅賞	大塚 笑	千葉県	住友林業建築技術専門学校
					浅野 心咲	愛知県	住友林業ホームエンジニアリング(株)東海事業部
銀賞	山崎 竜空	福岡県	住友林業ホームエンジニアリング(株)九州事業部	敢闘賞	佐野 竜馬	福岡県	(有)東島技工
					山下 響輝	千葉県	住友林業建築技術専門学校
					中村 貴大	宮崎県	(有)岩佐工業
					澁谷 碧	石川県	(株)イスルギ

第60回技能五輪全国大会（千葉）出場選手名簿

※敬称略

NO	氏名	都道府県名	所属事業所
1	遅澤 雅	栃木県	(有)阿久津左官店
2	安達 彩花	群馬県	(株)プラスターライフ
3	黄倉 千妃呂	埼玉県	学法人ものづくり大学 技能工学学部 建設学科
4	伊奈 海人	千葉県	尾形工業(株)
5	大塚 笑	千葉県	住友林業建築技術専門学校
6	山下 響輝	千葉県	住友林業建築技術専門学校
7	澁谷 碧	石川県	(株)イスルギ
8	佐藤 昭徳	岐阜県	(株)小倉左官店
9	大倉 陽介	愛知県	(有)キド業務店

NO	氏名	都道府県名	所属事業所
10	浅野 心咲	愛知県	住友林業ホームエンジニアリング(株)東海事業部
11	東野 来映	愛知県	名古屋市立工芸高等学校
12	山本 愛唯	愛知県	名古屋市立工芸高等学校
13	奥川 萌絵	愛媛県	(株)濱崎組
14	山崎 竜空	福岡県	住友林業ホームエンジニアリング(株)九州事業部
15	佐野 竜馬	福岡県	(有)東島技工
16	榊 晶	熊本県	(株)オオタ
17	中村 貴大	宮崎県	(有)岩佐工業

選手紹介



金賞 1番 遅澤 雅 (栃木県・有限会社阿久津左官店)



銀賞 14番 山崎 竜空 (福岡県・住友林業ホームエンジニアリング(株)九州事業部)



銅賞 5番 大塚 笑 (千葉県・住友林業建築技術専門学校)



銅賞 10番 浅野 心咲 (愛知県・住友林業ホームエンジニアリング(株)東海事業部)



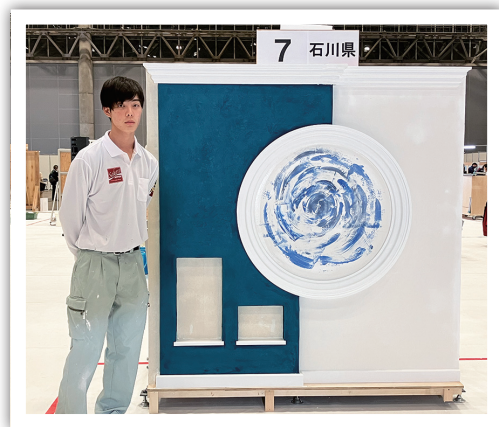
銅賞 15番 佐野 竜馬 (福岡県・有限会社東島技工)



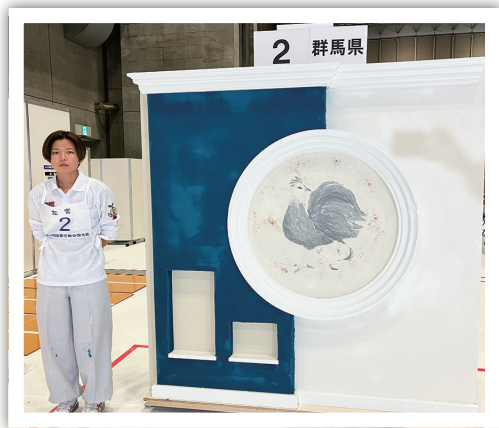
敢闘賞 6番 山下 響輝 (千葉県・住友林業建築技術専門学校)



敢闘賞 17番 中村 貴大 (宮崎県・(有)岩佐工業)



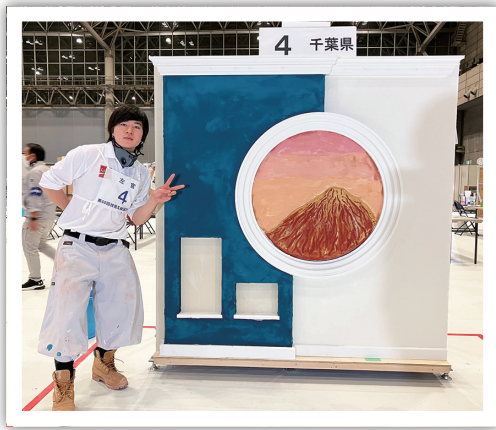
敢闘賞 7番 澁谷 碧 (石川県・(株)イスルギ)



2番 安達 彩花 (群馬県・(株)プラスターライフ)



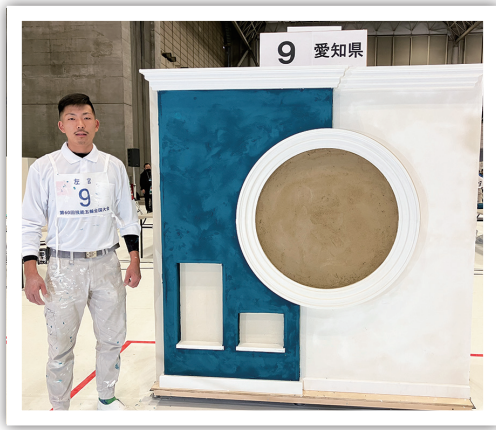
3番 黄倉 千妃呂 (埼玉県・ものづくり大学 技能工芸学部建設学科)



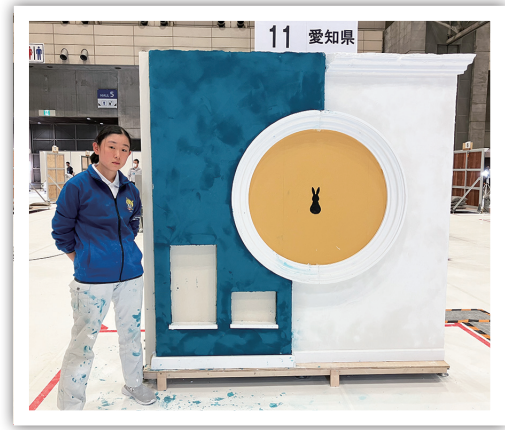
4番 伊奈 海人 (千葉県・尾形工業(株))



8番 佐藤 昭徳 (岐阜県・(株)小倉左官店)



9番 大倉 陽介 (愛知県・(有)キド業務店)



11番 東野 来映 (愛知県・名古屋市立工芸高等学校)



12番 山本 愛唯 (愛知県・名古屋市立工芸高等学校)



13番 奥川 萌絵 (愛媛県・(株)浜崎組)



16番 榎 晶 (熊本県・(株)オオタ)



開始前に選手全員で円陣

開会式（左官職種）



伊藤俊一担当副会長の開会挨拶



日左連石川会長の激励の挨拶



選手17名を代表して伊奈選手による宣誓

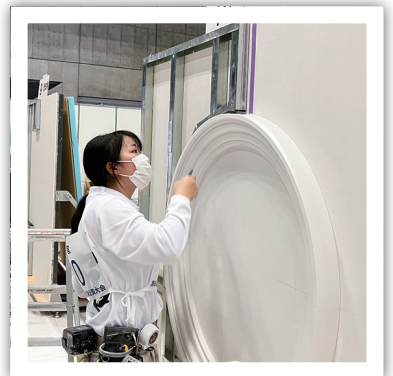


日左連青年部河合部長よりポロシャツの目録の授与



選手と運営関係者が日左連石川会長を囲んで記念撮影

競技風景



運 営

運営委員

町田 卓大（日左連・日左連理事）

競技主査

三原 齊（ものづくり大学）

競技委員

伊藤 敏夫（東京都）

島田 幸任（福井県）

吉村 誠（東京都）

河合 滋（静岡県）

菅野 健五（山梨県）

岩下 勉（福岡県）

競技補佐員

手塚 裕和（栃木県）

長谷川 彰利（群馬県）

大武 一寿（栃木県）

永山 文章（愛知県）

舛谷 義光（神奈川県）

佐藤 智一（神奈川県）

松葉 和道（岐阜県）

星 直樹（千葉県）

岡野 唯（日左連）



競技委員・補佐員一同



三原主査の採点に関する諸注意



澁谷選手へ競技委員特別賞の授与



遅澤選手へ左官職種敢闘賞の授与

第60回技能五輪全国大会講評

左官職種競技主査 三原 斉



技能五輪全国大会左官職種競技は、石膏や漆喰など自然素材を用いた建築の仕上げ部門として、建築物の室内外の装飾性や耐久性を付加する仕上技能と下地となる軽量鉄骨ボード張りの制作と精度を評価するものです。第60回技能五輪全国大会の左官職種競技は2日間、計9時間30分で左官下地となる軽量鉄骨組立てと石膏ボード張り、左官技能を駆使した石膏置き引きおよび塗り壁により「室内外の壁仕上げの美」を競いました。

2022年度は、来場者制限が緩和され、第60回技能五輪全国大会（千葉県「幕張メッセ」にて）が開催されました。本大会の左官競技では、栃木県1名、群馬県1名、埼玉県1名、千葉県3名、愛知県4名、岐阜県1名、石川県1名、愛媛県1名、福岡県2名、宮崎県1名、熊本県1名の計17名の選手が出場し、各選手たちがメダルを目指して競い合いました。本課題は、島田競技委員が主となり、全競技委員の総意で作成しました。課題内容は、これまでの2つのモジュールから、3つのモジュールに変更しました。まず、R型の軽量鉄骨壁およびボード張りの作成と厚塗りと薄塗りの各仕上げの違いを表現すること、石膏ボード表面にパテ処理等を取り入れました。次に、一日目は一部課題の寸法変更（モールディングと開口部の長さ）を採用しました。このことにより、下地の軽量鉄骨およびボード張りの寸法も変更する必要があり応用力が試されます。さらに、二日目は一部の塗壁作業とモールディングの切断加工・取付け・補修作業に関して、時間制限付きのスピード競技を採用しました。これは、伝統および現代的な日本式の左官湿式工法とWorld Skills Competition（以下、WSC）におけるPlastering and Drywall Systemsに多用されている乾式工法を融合し、応用かつ発展させたものです。

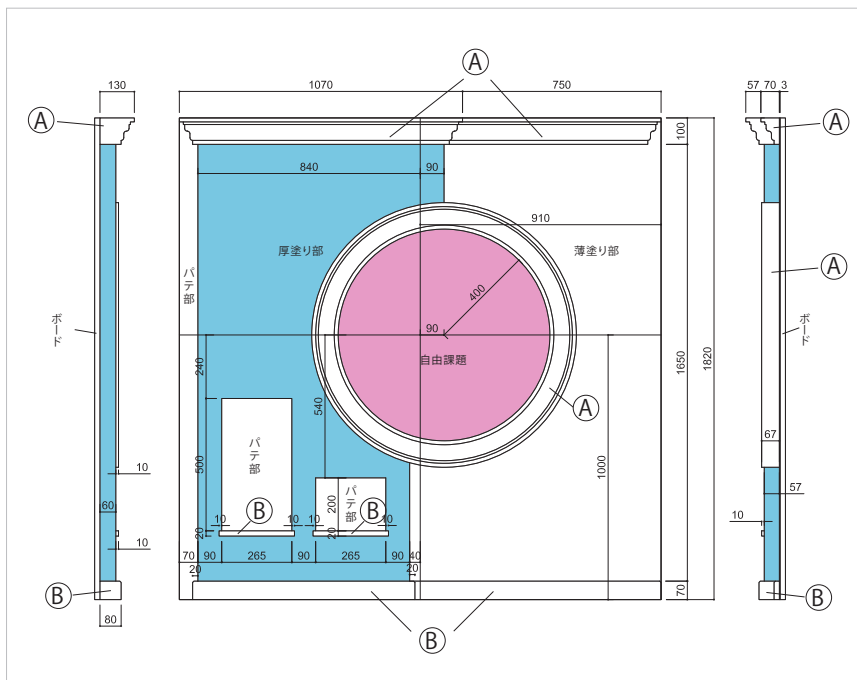
日本の左官の伝統工法と現代工法および欧州の乾式工法と湿式工法を取り入れた課題は、これからの日本の左官の仕事に大いに役に立つものと考えています。これらの新しい試みに、選手たちは果敢に挑み、最後まで気を緩めなかったことに敬意を表します。これらのことから、本課題は、昨年よりも実践的なものになっていると同時に、今まで以上に難度

が高い課題であったと言えます。競技の前日には左官職種の開会式を執り行い、開会の辞を技能五輪全国大会（国際大会兼務）実行委員会伊藤俊一担当副会長、（一社）日本左官業組合連合会石川隆司会長より激励の挨拶を頂戴しました。コーチや付き添いの方々が見守る中で競技が開始され、競技委員の皆様、補佐員の皆様の多大なるご協力のおかげで、2日間の左官職種競技は無事終了しました。本大会における出場選手および受賞および入賞者は別表のとおりです。金賞は、栃木県代表の遅澤雅選手が見事に受賞されました。また、銀賞は、福岡県代表の山崎竜空選手が受賞し、銅賞は、千葉県の大塚笑選手・愛知県の浅野心咲選手・福岡県の佐野竜馬選手が受賞しました。また、敢闘賞は、千葉県の山下響輝選手・宮崎県の中村貴大選手・石川県の澁谷碧選手が入賞しました。皆様、受賞および入賞おめでとうございます。また、受賞および入賞されなかった皆様も来年度の再出場への励みにしていただくことと、これからの仕事にこの経験を活かしていただければ幸いです。皆様のこれからの活躍に期待しております。さらに、（一社）日本左官業組合連合会・競技委員特別賞は、澁谷 碧 選手に、敢闘賞は、遅澤雅選手に、競技委員を代表して吉村委員より授与されました（別表参照）。本当におめでとうございます。

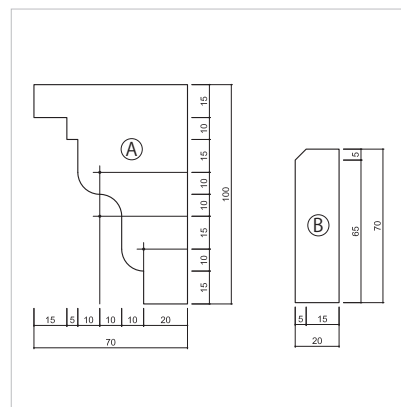
選手の皆様、関係者の皆様、素晴らしい左官作品の施工にチャレンジしていただき、本当にお疲れさまでした。また、材料等ご提供いただいたメーカーの皆様、ありがとうございました。ここに感謝の意を表します。

最後に、若者の左官技能者や左官技能者を目指す皆様にお願ひがあります。是非、多数の左官を志す若者の皆様に2023年度の技能五輪全国大会（愛知大会）に出場していただきたいと思ひます。次年の愛知大会は、2024年度に行われるWSC Lyon in Franceの予選となります。皆様の多数のご出場を願っております。

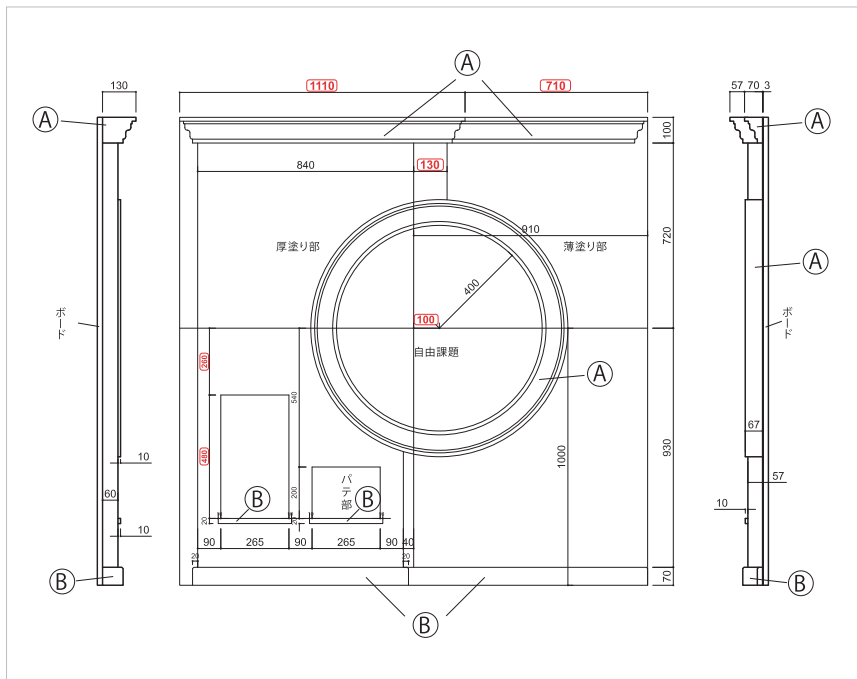
第60回技能五輪全国大会 左官職種競技課題図



左官技能五輪課題 公表課題



左官技能五輪課題 置き引き断面図



左官技能五輪課題 当日課題



競技課題展示見本

第60回技能五輪全国大会日程表

日 時		日 程	
11月2日 (水曜日)	13:00 ～ 17:00	(7:30～入場可能) 一部競技委員・補佐員集合(幕張メッセ)準備打合せ・器材搬入及び設置等 (～20:00退出時間)	
11月3日 (木曜日)	8:00 8:30～16:30	競技会場へ集合(7:30～入場可能) 会場エリア設営及びシート養生・エリアパーテーション・資材搬入・架台設置・捏場設 営等の準備作業・選手器材と工具搬入(競技委員・補佐員及び関係者) 競技委員会ミーティング実施(採点内容の公表・競技委員の採点業務に関わる件) (～20:00退出時間)	
11月4日 (金曜日)	8:00	競技会場へ集合(競技委員・補佐員等)(7:30～入場可能)	
	9:00	選手集合、受付(全員受付後、集合次第説明に入る)	
	9:30	左官職種開会式(架台抽選会=選手名簿作成配布)・選手カード交付・課題チェック・ 工具展開・支給材料確認・説明・選手紹介・選手全員の記念撮影(中止の場合あり)・ 競技準備・閉会・デモンストレーション	
	10:30	競技準備・閉会・デモンストレーション	
	11:30	選手解散時間(選手昼食時間:解散後各自)	
	昼 食		
	13:00	課題不具合調整	全職種開会式 (14:00～14:30) オンライン
	13:30	実行委員会開催予定	
	15:30	(引続き)競技委員会開催(採点関係)	
	17:00	競技委員・補佐員等関係者解散 (～20:00退出時間)	
11月5日 (土曜日)	7:45	競技委員・補佐員・関係者等集合(7:30～入場可能)	
	8:00	選手集合・ラジオ体操・説明・選手整列	
	8:50	競技開始(休憩10分間)	
	12:00	競技終了(採点計測開始)	
	昼 食		
	13:00	競技開始(休憩10分間)	
	16:40	競技終了(打ち切り10分後)終礼	
	16:50	採点計測	
	17:00	選手解散(競技委員・補佐員等関係者解散19:00)(～20:00退出時間)	
11月6日 (日曜日)	8:00	競技委員・補佐員・関係者等集合(7:30～入場可能)	
	8:30	選手集合・ラジオ体操・説明	
	8:50	競技開始(休憩10分間)	
	12:00	競技終了(打ち切り10分後)	
	昼 食		
	13:00	持参工具整理・宅配便手配 ※千葉県連作業員(片付け補助員)集合	
	13:20	左官職種終了式	
	13:55	スナップ撮影	
	14:00	選手解散	
	13:50～	採点計測・採点集計	
	16:30	完成課題の解体・片付け等(予定)	
	19:30	左官職種の順位決定→中央協会(技術委員会)へ順位報告(予定)・解散 (～20:00退出時間)	
11月7日 (月曜日)	表彰式内 10:00 ～ 12:00 8:00～12:00	成績発表・入賞者決定 閉会式「千葉ポートアリーナ」(ライブ配信あり) ※終了後に全国へ報告 課題解体・搬出(11/6中に終わらない場合)	